

北陸圏広域地方計画の策定について

<策定の考え方>

平成19年1月22日
国土交通省北陸地方整備局
国土交通省北陸信越運輸局

1. 「北陸圏広域地方計画」策定の考え方

<「北陸圏広域地方計画」の役割と策定の視点>

今後の北陸圏形成の基本的な計画として、圏域のあり方(かたち)と戦略(道すじ)を構築

- 全国計画と一体となって国土形成計画を構成
- 北陸ブロックの多様な主体が協働で協議・策定
- 社会資本、産業活性化、人材育成、地域システム等多彩なテーマを論議
- グローバル社会から生活やライフスタイルまで幅広い視点で計画を策定

「全国計画」と連動しつつ、北陸圏の自立的発展を実現する、独自の圏域形成計画を構築。

<「北陸圏広域地方計画」の構成イメージ>

全国計画を参考としつつ、北陸圏の特性や独自性をふまえた課題整理と計画策定を行う。

<全国計画－計画部会中間とりまとめ－の構成>

1. 時代の潮流と国土政策上の課題(課題の明確化)

2. 新しい国土像(めざすべき国土のあり方・方向)

3. 計画のねらいと戦略的取組
(国土像の実現のための戦略と方策)

4. 計画の実現に向けて
5. 国土利用計画の策定(今後の進め方)

共通課題
+
独自課題

国土の一員
+
自立的発展

他の圏域との連携
+
独自資源の活用

北陸独自の
推進体制

<北陸圏広域地方計画の構成(イメージ)>

1. 北陸圏をとりまく潮流と圏域の課題
(北陸圏の課題の明確化)

2. 新しい北陸像(めざすべき圏域のあり方・方向)

3. 北陸圏の戦略と圏域形成計画
(実現のための戦略と方策)

4. 計画の実現に向けて

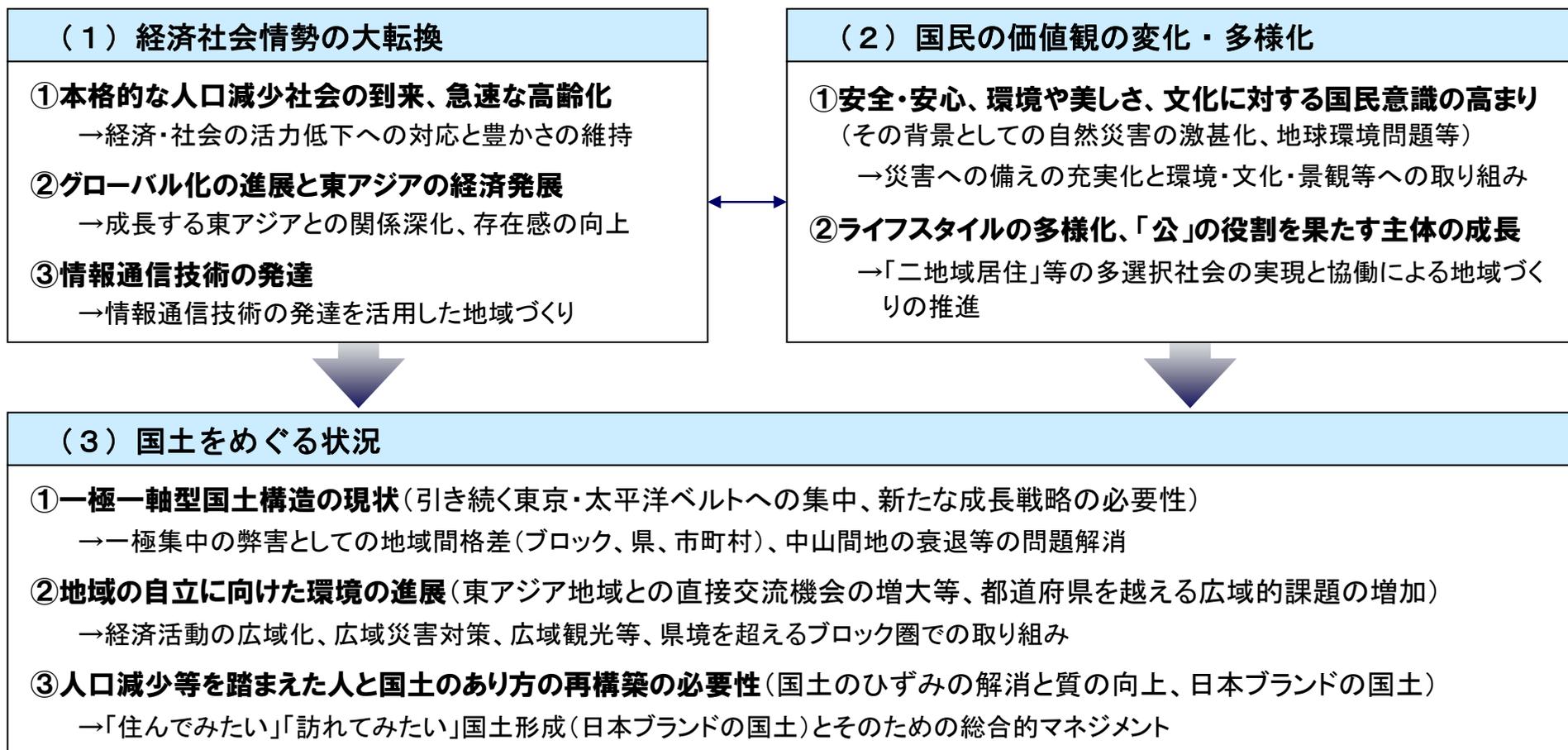
2. 北陸圏の課題の明確化に向けて

(1) 計画部会中間とりまとめにおける「課題整理」の状況

中間とりまとめでは、①経済社会情勢の大転換(社会制度・システム)と、②国民の価値観の変化・多様化(個の意識・ライフスタイル)を大きな変化潮流ととらえて課題を整理。それらの社会的課題から見た③国土をめぐる状況(国土構造等の課題)を明らかにしている。

<中間とりまとめにおける「課題整理」> ※ →以下は各項の要約

(第1章) 時代の潮流と国土政策上の課題



(2) 全国共通で検討すべき課題項目及び論点キーワード(中間とりまとめ記述より)

① 経済社会情勢の大転換

中間とりまとめの分類	主要課題	取組の方向(論点キーワード)	関連動向・データ
① 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化	人口の減少を前提とした課題 <ul style="list-style-type: none"> ・人口規模が縮小する中での豊かさの維持 ・労働力人口減少における財やサービスの供給主体の確保 ・地域の活力低下 ・高齢者単独世帯の増加 ・人口の減少等を前提とした課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した経済成長 ・労働力の確保 ・生産性の向上 ・人材の育成 ・女性・高齢者等の就業機会の拡大 ・コミュニティの再生 ・定住人口以外の多様な人口の視点 ・地域活性化 ・人と国土の安定的な関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少動向 ・高齢化動向
② グローバル化の進展と東アジアの経済発展	東アジアとの連携のための課題 <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアとの関係の深化 ・東アジア共通の問題の解決と貢献 ・国際的リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済圏 ・環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口の高齢化等 ・知力、文化力、情報力等のソフトパワー ・教育・研究の振興 ・情報発信力を強化 ・海洋権益 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアとの関係(経済、交流)
③ 情報通信技術の発達	「衆知の時代」への対応と活用のための課題 <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術を活用した地域づくり ・情報通信技術を活用した交流の活発化 ・情報通信技術を国土管理に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な知識の結集 ・多様な形態の協働 ・衆知の時代 ・ユビキタスネットワーク環境 ・産業立地等の分散 ・テレワーク等勤務形態の多様化 ・知的生産活動の集中 ・防災やセキュリティ確保 ・医療・介護等の様々な分野で人の活動を補完 ・国土基盤の機能の高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク整備動向 ・情報通信技術関連産業の動向

(2) 全国共通で検討すべき課題項目及び論点キーワード(中間とりまとめ記述より)

②国民の価値観の変化・多様化

中間とりまとめの分類	主要課題	取組の方向(論点キーワード)	関連動向・データ
①安全・安心、環境や 美しさ、文化に対す る国民意識の高まり	<div data-bbox="406 454 623 625" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 安全・安心、 環境や美しさ、 文化への関心 の高まり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・安全や安心に対する国民の意識 ・資源やエネルギー不足への懸念 ・国土や地球環境への負荷 ・ゆとりや安らぎ、心の豊かさへの意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の激甚化 ・事故の多発化 ・犯罪の続発 ・地球温暖化の進展 ・異常気象の増加 ・脆弱な国土構造 ・世界有数の地震火山国 ・生態系の劣化 ・地球温暖化防止 ・循環型社会の構築 ・美しい景観 ・文化芸術等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の発生状況 ・地理・地勢の特性 ・自然環境・地球環境動向 ・景観や文化をめぐる動向
②ライフスタイルの多 様化、「公」の役割を 果たす主体の成長	<div data-bbox="406 943 623 1079" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 多選択社会の 実現と地域活 性化 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方、住まい方、学び方が 可能な多選択社会 ・多様な「居住」による地域活性化 ・国土づくりを担う主体の意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークなど働き方の多様化 ・住まい方の多様化 ・家族形態の多様化 ・「近居」 ・「多業」(マルチワーク) ・「多芸」 ・「二地域居住」 ・多選択社会 ・幅広い「公」の役割 ・国土づくりを担う主体の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・居住や家族形態の動向 ・働き方に関する動向 ・新しい「公」に関わる動向

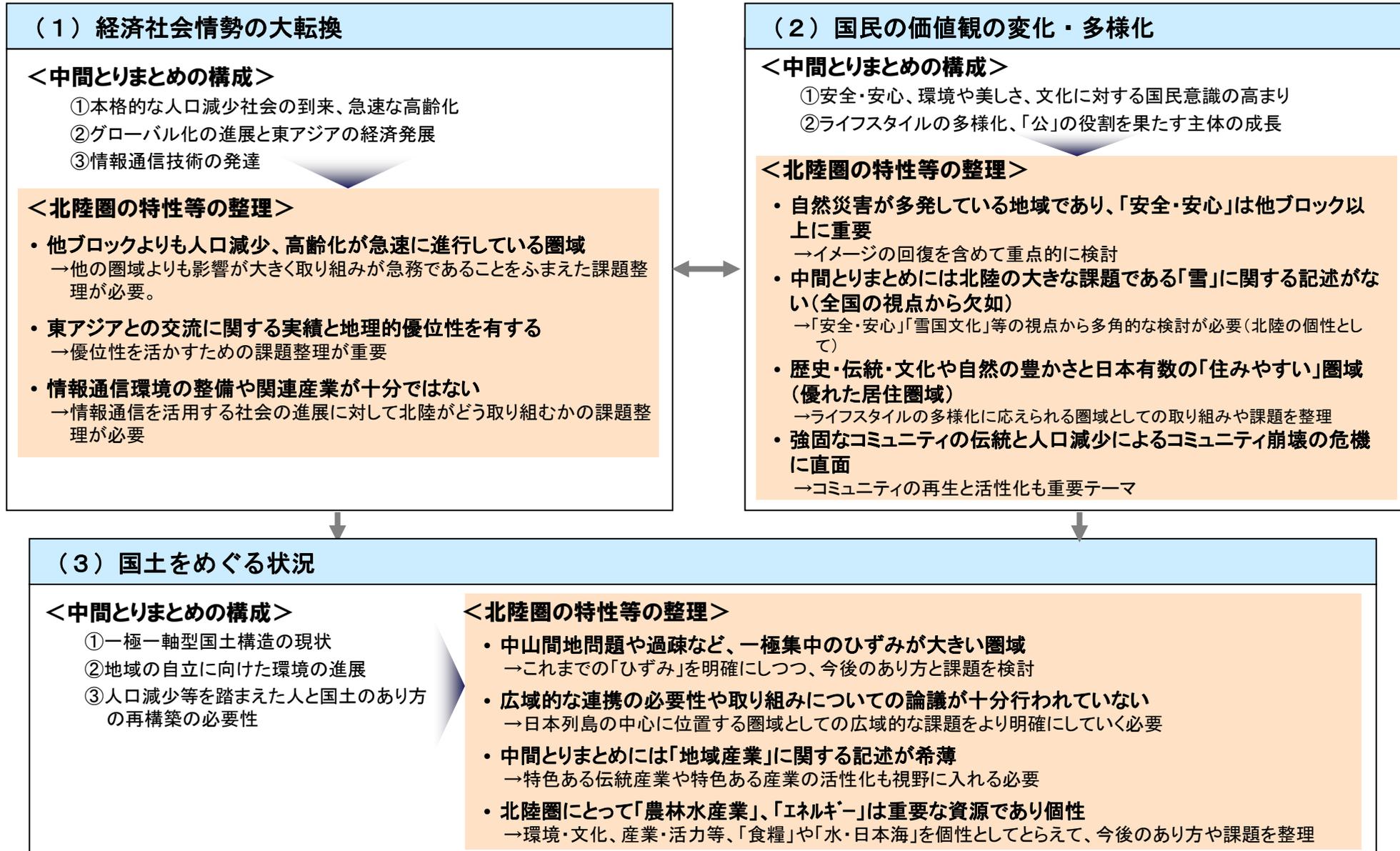
(2) 全国共通で検討すべき課題項目及び論点キーワード(中間とりまとめ記述より)

③国土をめぐる状況

中間とりまとめの分類	主要課題	取組の方向(論点キーワード)	関連動向・データ
①一極一軸型国土構造の現状	<div data-bbox="404 449 631 578" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一極一軸構造のひずみの見直し</div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化やアイデンティティの回復 ・過疎問題や活力の低下への対応 ・地域間格差の是正 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化の進展 ・居住環境整備の遅れ ・災害に対する脆弱性 ・画一的な資源配分 ・地域の個性の喪失 ・都市及び産業の集積 ・国土基盤の質的向上 ・戦略的な投資 ・地域間の格差 ・地域活力の低下 ・社会的諸サービスの維持 ・地縁型のコミュニティの弱体化 ・集落の衰退や消滅 ・新たな地域発展のモデル 	<ul style="list-style-type: none"> ・一極一軸による弊害 ・地域間及び地域内格差
②地域の自立に向けた環境の進展	<div data-bbox="404 892 631 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">広域的な観点による課題への対応</div> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な課題の発生 ・広域的取組による自立 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自主決定力が強化 ・直接交流機会の増大 ・人口・産業の集積 ・基幹的な公共施設の整備 ・国際競争力を高めうる潜在力 ・地域のアイデンティティ ・国際物流・高速交通体系等の戦略的整備 ・過疎・中山間地域の対策 ・広域地震災害対策 ・広域観光ルート形成等 ・区域を超えた広域的な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な戦略や取り組みの動向
③人口減少等を踏まえた人と国土のあり方の再構築の必要性	<div data-bbox="404 1220 631 1349" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">安全で美しい国土形成への取り組み</div> <ul style="list-style-type: none"> ・国土の魅力の再構築 ・魅力(日本ブランド)の世界への発信 ・国土の総合的マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい田園風景 ・快適で安全な都市 ・深みのある文化 ・歴史や伝統に根ざした地域の暮らし ・快適で信頼のおける交通サービス ・美しく信頼され性能の良い「日本ブランドの国土」 ・国土の総合的なマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の蓄積された資源 ・国土管理に関する動向

(3) 北陸圏の特性をふまえた検討項目について

中間とりまとめで提示されている全国共通の課題について、北陸圏の現状や特性に基づいて構成内容を整理してみると、次のようになる。



(3)北陸圏の特性をふまえた検討項目について

＜北陸圏において重視すべき検討項目＞

北陸圏広域地方計画の策定に向けた課題整理においては、以下のような項目を重視して、そのあり方と課題を検討・整理することで、北陸圏の個性や特性を反映した、独自性の高い計画策定をめざす。

問題解決型検討項目

→他の圏域よりも重要・重視すべき項目として

- 人口減少と高齢化の先進地域
- 中山間地・過疎問題
- 急峻な地形、急流河川等の自然条件
- ユビキタス社会(情報通信活用社会)への対応
- 雪対策

資源活用型検討項目

→他の圏域よりも優位性や個性を発揮できる項目として

- 東アジアのゲートウェイ(地理的優位性と環日本海交流の実績等)
- 歴史・伝統・文化や自然の豊かさと住みやすさ(優れた居住空間、環境、観光、癒し等)
- 雪(雪国文化、雪の景観、雪がもたらす水とエネルギー等)
- 農林水産業、エネルギー(日本の食糧・エネルギー基地、田園風景、水路のネットワーク、農村文化、日本海の恵み等)
- 特色ある伝統産業や特色ある産業の集積
- 3大都市圏を後背地に持つ地域的優位性(日本列島の扇の要)